

知・技

じょうほうのあつかい方(5)
「国語じてんの使い方」

名前

一 国語じてんに出てくる早いじゆんに
() に数字を書きましょう。

1

()	()	()	()
()	()	()	()
キリン	ライオン	ねこ	いぬ

2

()	()	()	()
()	()	()	()
ボート	ぼうはん	ぼきん	

3

()	()	()	()
()	()	()	()
すずむし	すすき	すずき	すすめ

4

()	()	()	()
()	()	()	()
バス	バスケット	パス	はす

二 次の――部の言葉を、国語じてんでしらべ
るときの言葉(見出し語)にして に書
きましょう。

1 きょうの空は、青くてきれいだ。

2 妹が、しずかに本を読んでいた。

3 たくさんの鳥が、飛んでいった。

三 次の言葉の意味を国語じてんで調べまし
よう。調べた意味を の中に書きま
しょう。

1 かるやか

2 さわやか

3 ゆるやか

じょうほうのあつかい方(5)
「国語じてんの使い方」

答えと説明

一 国語じてんに出ていている早いじゆんに () に数字を書きましよう。

1

(1) いぬ
(3) ねこ
(4) ライオン
(2) キリン

2

(3) ぼきん
(1) ぼうはん
(2) ボート

3

(4) すずめ
(2) すずき
(1) すすき
(3) すずむし

4

(1) はす
(3) パス
(4) バスケッ
(2) バス

☆見出し語のならび方

●一字目が同じときは、二字目の五十音順、二字目が同じときは、三字目の五十音順にならんでいます。

●多くのじてんでは、清音(は)の後に、だく音(ば)、だく音の後に、半だく音(ぱ)の順にならんでいます。



●「ロープ」「ゲーム」などのようにのはす音をふくむ言葉は、「ろおぶ」「げえむ」のように、「あ・い・う・え・お」におきかえて、ならんでいます。

二 次の——部の言葉を、国語じてんでしらべるとき言葉(見出し語)にして [] に書きましよう。

1 きよの空は、青くてきれいだ。

青い

2 妹が、しずかに本を読んでいた。

しずか

3 たくさんの鳥が、飛んでいった。

とぶ

三 次の言葉の意味を国語じてんで調べましよう。調べた意味を [] の中に書きましよう。

1 かるやか

軽快なさま
いかにも軽そうなさま

2 さわやか

気分が晴れ晴れとしていて
快いさま

3 ゆるやか

ゆっくりしたさま